

会 長	入江公敏	会長エレクト	小柳智裕	事 務 所	大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号
副 会 長	小柳智裕	幹 事	黒坂 毅		大和中央ビル 301
プログラム・	辻 彰彦	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
クラブ会報担当	橋本日吉				E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

「よいことのために 手をとりあおう」

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「あるべき姿、明るい未来を目指そう」

【本日のプログラム】 3月12日 夜間移動例会 「親睦活動について」 会場 睦月

【次回予告】 3月26日 クラブフォーラム 「会員増強・会員維持について」 クラブラーニング担当

【第2189回例会】 令和8年3月5日(木) 【SL】 藤岡 博 君 【司会SAA】 橋本 日吉 君

【斉唱】「君が代」「奉仕の理想」 【ゲスト】 白 云 森 様(米山奨学生)

## 会長の時間 小柳 智裕 副会長

『テーマ: 人生が前向きになる考え』

本日の会長の時間では、「人生が前向きになる考え」について、少しお話ししたいと思います。



私たちは日々、仕事や家庭、地域活動など、いろいろな役割の中で生きています。うまくいく日もあれば、思うようにいかない日もありますよね。

そんな時、私がよく思い出すのが、ロータリーの考え方の一つ\*\*「超我の奉仕(Service Above Self)サーヴィサバヴ セルフ」\*\*です。

この言葉は、「自分のことより、まず人のために」という意味ですが、決して自己犠牲をしなさい、ということではないと思っています。

人のため、社会のために行動した結果、一番元気をもらっているのは、実は自分自身だった、そんな経験、皆さんにもあるのではないのでしょうか。

・誰かに感謝されたとき

・仲間と一緒に何かを成し遂げたとき  
・地域の役に立てたと実感できたとき  
不思議と、気持ちが前向きになります。

もう一つ、私が大切にしている教えがあります。それは、\*\*「すぐに結果を求めすぎない」\*\*ということです。

ロータリーの活動も、仕事も、人間関係も、すぐに成果が見えないことの方が多いです。でも、目に見えないところで、確実に積み重なっている。種をまいて、すぐ芽が出なくても、水をあげ続けていれば、ある日ふと芽が出る。人生も同じだと思います。今日うまくいかなかったとしても、「これは無駄ではない」「何かの糧になる」そう考えるだけで、少し前向きになれます。

最後にもう一つ。前向きに生きるために一番大切なのは、完璧を目指さないことだと思っています。

会長も、会員も、人間です。失敗もしますし、迷うこともあります。でも、仲間がいる。相談できる人がいる。それがロータリーの一番の魅力ではないでしょうか。

今日もこの例会という時間が、皆さんにとって少しでも前向きな気持ちになれる場になれば嬉しいです。感謝。

イニシエーション スピーチ 楽しみにしています！

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 9名(敬称略)
26名	14名	60.87%	60.87%	3名	阿萬、原島、星川、池澤、入江、板垣、長野 新村、横澤



米山奨学生 ご挨拶  
白云森 様



## 幹事報告 黒坂 毅 幹事

- ①3月のレートは1ドル156円です。
- ②4月4日(土)開催 ローター財団奨学生帰国報告会/懇親会 開催されます。
- ③年4月27日(月)～28日(火)「クラブ活性化セミナー2026」が開催されます。

## 委員会報告

クラブラーニング担当 後藤 定毅 副担当

東日本大震災の時、当時クラブで創立35周年記念事業として親を亡くした子供たちのための、ロータリー東日本大震災希望の風奨学金プロジェクトに賛同し寄付したことがあります。その15年の奉仕の歩みが、3月13日午前6時、NHKテレビ「おはよう日本」の放送の中で紹介がありますのでお知らせします。



親睦活動委員会 土屋 大輔 委員長

会員誕生日	高橋 政史 君	3月14日
配偶者誕生日	高橋 田鶴子 夫人	3月21日
創業記念日	横澤 高太郎 君	3月8日
	藤岡 博 君	3月18日
入会記念日	橋本 日吉 君	3月15日

## イニシエーションスピーチ

高橋 政史 会員

皆様、こんにちは。この度、歴史ある大和中ロータリークラブに入会させていただきました高橋政史でございます。本日はこのような貴重な時



間をいただきありがとうございます、私の「自分史」をお話しさせていただきます。

### 1. 幼少期

私は昭和42年、ここ大和市の上草柳に生まれました。我が家は江戸時代の寛文3年、徳川4代将軍家綱の時代から続く農家で、私はその14代目の長男にあたります。350年という月日の重みを感じながら育ちました。



幼少期の記憶で鮮烈なのは、私が生まれるわずか2年前、昭和39年に起きた米軍機墜落事故(館野鉄工所事故)の影響です。その事故により、家は元々あった墓地周辺、草柳園の少し上のあたりから現在の場所へと移転を余儀なくされました。牛小屋などは引屋で運んできたと聞いております。農家の長男ですから、遊びに行く前にまずは畑の手伝い。そして中学を卒業するまで、毎日の風呂焚きは「薪」でした。薪を割り、マッチで火を熾し、煙に巻かれながらお湯を沸かす。そんな昭和の農家の原風景が、私の根底にあります。スポーツは草柳小学校時代に草柳サッカー少年団に入り、光ヶ丘中学までサッカーに明け暮れました。

### 2. 馬術部

私の人生を語る上で欠かせないのが「馬術」です。日大藤沢高校に入学した際、当初はサッカー部を希望していましたが、推薦組のレベルの高さに圧倒され断念しました。そこで「馬に乗れたらカッコいいな」という軽い気持ちで馬術部の門を叩いたのが運の尽き、いえ、運命の始まりでした。



六会にある日大馬術部は、全国から国体選手が集まる日本一の体育会馬術部ですが、入部すると優雅な乗馬のイメージは初日で吹き飛びました。待っていたのは、馬にはほとんど乗せてもらえず、毎日、ポロ拾いの馬小屋掃除、藁干し、そして餌やりなどの馬の世話ばかりです。一番辛かったのは、ポロまみれで作業した後帰る電車の中です。自分一人だけが「馬のおしっこ臭く」周囲の視線が痛かったことです。7人い

た新入部員は最後2人になりましたが、そこで逃げ出さなかったのは、馬という生き物の持つ不思議な魅力と、体育会の厳格な上下関係があったからです。

大学の先輩たちは、4年間厩舎の横の寮で馬と寝食を共にします。コーチは元五輪選手。オリンピック代表馬をはじめ名馬40頭を抱え、当時、学生選手権連覇中の日本一の体育会組織です。あまりの過酷でつらい生活に毎年、大学生が寮から夜逃げする状態でした。

私はそこで、高校時代関東大会優勝、インターハイベスト8という成績を残しましたが、関東大会優勝の代償としてお尻の皮が何



度も剥けました。また、大学生と農家に堆肥を持って行き「堆肥を糞と交換してくれませんか」と飛び込み訪問、蹄鉄を付け替える装蹄の手伝い、中でも馬の「疝痛(腹痛)」の際は、夜通し肛門から腕を根元まで入れて便を掻き出すといった、普通の高校生では絶対にしない経験もしました。組織の中で与えられた役割を果たすことや命を預かる責任感と、言葉の通じない相手を制御する難しさ。これが私の精神的な背骨となりました。

#### 4. 乗馬クラブで

高校時代関東大会での優勝もあり、多くの大学から体育会推薦入学の話がありました。成績が足りなかったことと名門日大馬術



部に進む以外事実上許されず、かといって体育会で4年間厩舎での地獄の寮生活をするのも嫌だったため、体育会には入らず、大学時代は善行にある藤沢乗馬クラブでアルバイトに明け暮れました。

ここでの経験は、私にとっての「商売」の原体験です。個人経営の乗馬クラブは、入会金や年会費、そしてオーナーから馬を預かる預託料、そして馬の売買で成り立っています。そこで私は、いわゆる「馬喰(ばくろ)」の世界を垣間見ました。当時2~30万円ほどの

「肉値」で仕入れた引退競走馬を2、3年かけて調教し、競技会で実績をあげ、数百万、時には一千万を超える価値をつけてオーナーをつけるか売却するビジネス。ちなみに乗馬クラブでは定期的に肉値で数等仕入れ、可能性をテストして、だめなら太らせて厚木のと殺場に持ってゆく世界でした。

一度、忘れられない事件がありました。新馬のテストライダーとして障害を跳ばせた際、馬が直前で避け、私は鉄製の支柱に額を強打。9針縫う大怪我をしました。しかし、その馬は後に私が調教し、最終的には500万円で売れていきました。あの時、私を突き飛ばした馬が、立派な障害飛越競技馬として羽ばたいていく。ビジネスの厳しさ、調教の成果が結びつく瞬間を、身を以て体験した学生時代でした。

#### 5. 大和市役所

就職は、当時バブル期の華やかな東京で働いてみたかったが、紆余曲折の末、地元大和市役所に拾ってもらい、市民税課で法人市民税担当として働きました。5年後公園緑地課で緑地保全や市民参加の公園づくり等を企画提案し、住民参加のまちづくりの一端にたずさわることができました。

その後、土屋市長時代の企画政策課政策担当となり、議会での答弁書の取りまとめや政策会議の段取り、そして3月の定例議会での施政方針演説を書いたりする仕事をしました。施政方針演説原稿は毎年、年が明けると担当2人で会議室にこもり、2、3週間程度で書き上げますが、首長の政策方針や市の総合計画、予算計画等との整合性をとることが必須であるため、一言一句チェックされ、何度も何度も差し戻され書き直すという大変な仕事でした。

#### 6. 郵便局長

転機は平成15年、父の定年に伴う郵便局長への就任です。子供のころから実家の隣にある郵便局で働く親父の姿を見ており、特に夏は、昼飯後、ズボンを脱ぎ、扇風機にあたりながら高校野球を観て、昼寝をし3時ごろ局に戻り、夜になると会議と称してどこかへ出かけるという姿を見て、郵政省時代ということもありましたが「郵便局長は楽な仕事のイメージ」しかありませんでした。

しかし、いざなってみると、現実には甘くなく、窓口対応、夕方になるとお金が合わない事もしばしば、クレーム処理、貯金・保険・年賀はがきのノルマ、そして民営化の荒波・・・と自分にとっては大変な毎日でした。

余談ですが、あるとき郵便局にラッピングされたランの花を抱えた、きれいな韓国女性が来局され、私は「海外に生花は送れません」と対応しましたが「お父様へ誕生日プレゼントを渡してください」私は「父ならの隣の実家にいますけど」「自宅に行けないから渡してほしいのです」とのことでした。父の葬儀の時にも、それらしき方を見かけましたが、どなたか、わかれば、その方のお店を教えてくださいたいと思います。

郵便局長は全国郵便局長会という任意団体に加わらなければならず、組織は大和部会・神奈川県中部地区会・関東会・全国郵便局長会(全特)があり、土日活動しなければなりません。中でも最も過酷だったのは、よく「自民党の集票マシン」と揶揄される選挙活動でした。

特に参議院選挙の比例で組織内候補者個人票が何票とれるかで、社内の評価、局長会内での発言権、会長の関東会や全特でのポストがすべて決まる世界「選挙は3年に1度の局長の通信簿」とも言われています。

父も苦勞した選挙ですが、私も神奈川県中部郵便局長会の選挙責任者として陣頭指揮をとりました。特に2019年の選挙では、担当地区で史上最高の票を叩き出しましたが、公示日前のトラブルがSNSで拡散されるという事態に見舞われました。顧問弁護士の指示で、マスコミが来ている局には帰らず、そのまま当該局長と都内のホテルを転々しました。

実は、私の父も現役時代副会長の役職で、全く同

じように選挙違反の嫌疑で実家前に刑事に張られ、都内を逃げ回った経験があります。親子二代で同じ失態を演じるという、笑うに笑えない高橋家の宿命を感じた瞬間でした。

そんな激動の郵便局長生活を昨年3月に退職し、残された先祖から受け継いだ土地を守るべく、現在は不動産管理業をしております。

58歳になり、2人の娘も自立し、ようやく自分の時間を地域のために使えるようになりました。親父のやっていた善徳寺や東稻荷神社の世話人をしたり、18年間の消防団活動など、これまでも地域には関わってまいりましたが、これからはロータリークラブという新たな場で、皆様のような志高い方々と共に歩めることを心より嬉しく思っております。

今でも時々、馬から落ちる夢や、郵便局の金庫を閉め忘れる夢を見て飛び起きることがあります。それだけ必死に駆け抜けてきた人生だったのかもしれない。これからは、馬術で培った「手綱さばき」と、郵便局で学んだ「地域との絆」を大切に、ロータリー活動を通じて、この大和の地へ奉仕していきたいと考えております。



スマイルボックス 高橋 政史 委員 本日 ¥11,000 累計 ¥290,766-

小柳 智裕 副会長、黒坂 毅 幹事

本日のイニシエーションスピーチ、高橋政史会員どうぞよろしくお願い致します。

後藤 定毅 君

白さん米山奨学生、終了おめでとうございます。新しい目標に向かって頑張ってください。

高橋 清 君

妻の誕生日のお祝い頂きありがとうございます。

北砂 明彦 君

白さん、卒業おめでとうございます。来月から社会人、頑張ってください。お土産ありがとうございます。

辻 彰彦 君

皆様こんにちは。白さん、米山ご卒業と就職

おめでとうございます。頑張ってくださいね。お土産もありがとうございました。

高橋 清 君、橋本 日吉 君

高橋 政史会員、イニシエーションスピーチ楽しみに拝聴させていただきます。

野口 宏 君

高橋 政史会員、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。緊張せずに気軽にやってください。

中村 友彦 君

高橋 政史さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしておりました。よろしくお願ひします。

高橋 政史 君

誕生日のお祝いありがとうございます。